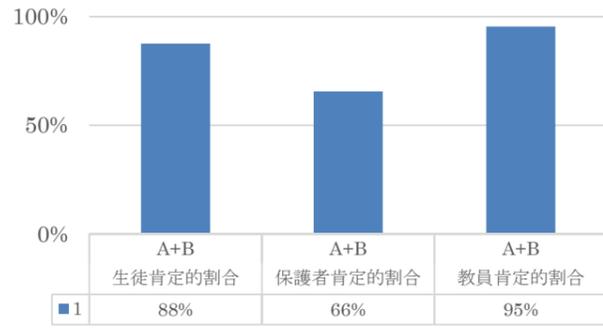
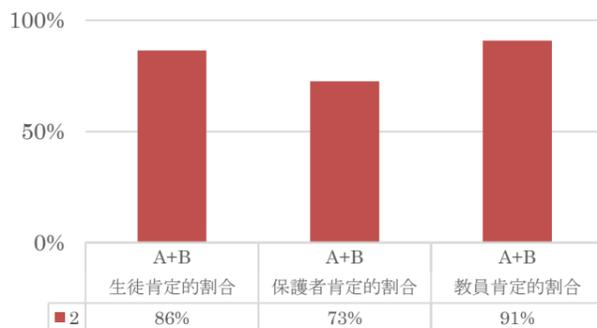


1 授業の充実



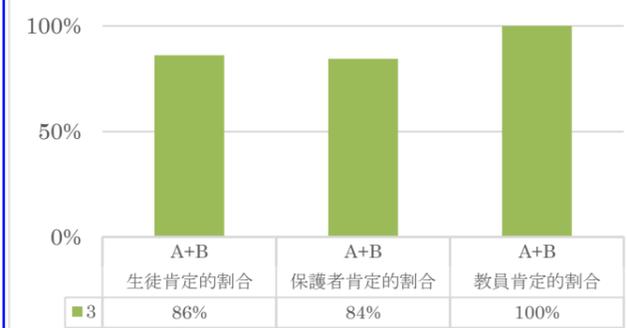
【分析】
授業の充実は、保護者の期待に届いていない結果となった。夏季休業明けに2時間程度の研修を行い、分析と対応案を検討する。

2 授業規律の徹底



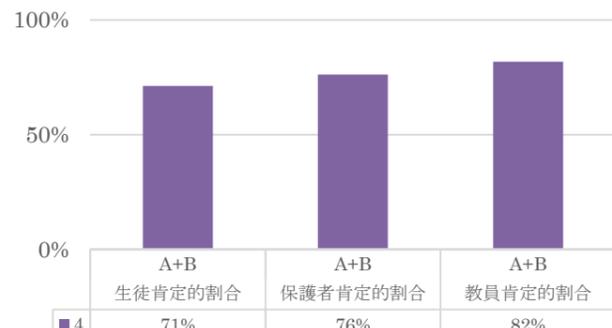
【分析】
授業規律の徹底では、保護者のイメージと離れている部分もあると読みとれる。本校では不易と流行を捉え、変わりつつあるものの、成果として出ていない。

3 学習活動・評価



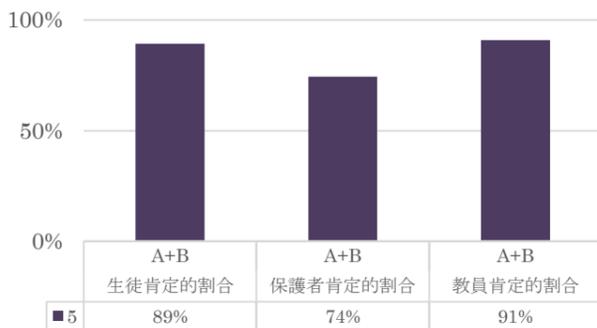
【分析】
令和4年度全国学力学習状況調査では初めて、全国平均値を上回った。引き続き、継続できるように、情報の共有をすすめる。

4 家庭学習の充実



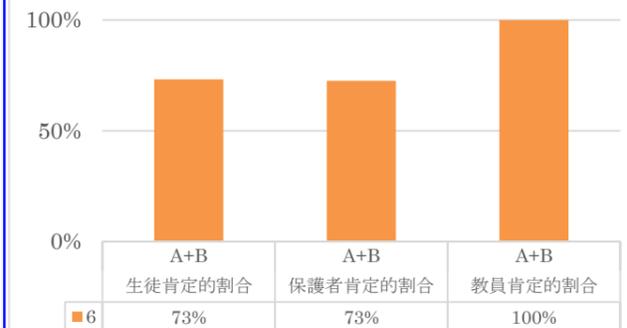
【分析】
家庭学習は本アンケートだけではなく「家庭学習記録シート」から量を確保できている。質への転換が課題である。

5 道徳教育・人権教育の充実



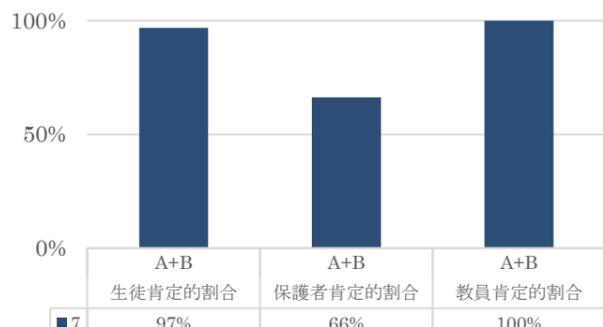
【分析】
教育活動の要である道徳教育・人権教育については、授業だけでなく日々の活動の中ですすめてきた。情報の発信をすすめていく。

6 進路指導の充実



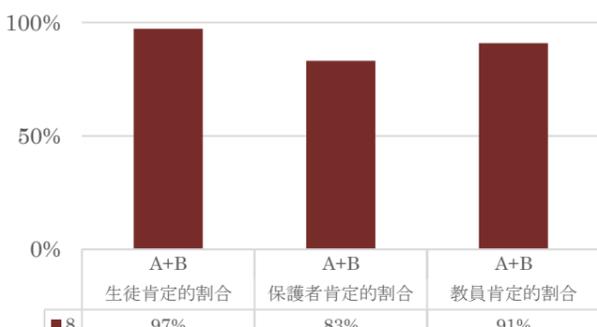
【分析】
進路指導の充実については、生徒保護者とも同じ割合だった。卒業後の進路だけではなく、キャリア教育の視点で充実をはかる。

7 いじめへの対応



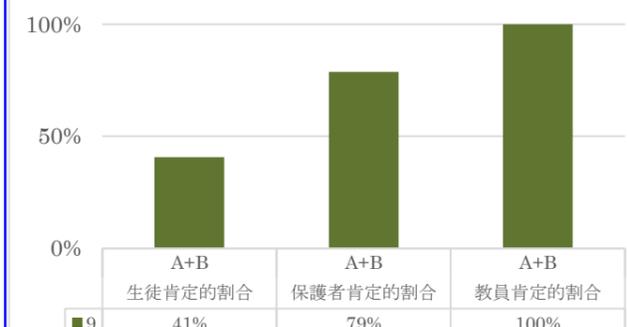
【分析】
いじめへの対応は、生徒・教員と保護者で差が出る結果となった。教員間では毎日情報交換をしているが、保護者への連絡が滞ることが考えられる。

8 安全指導の充実



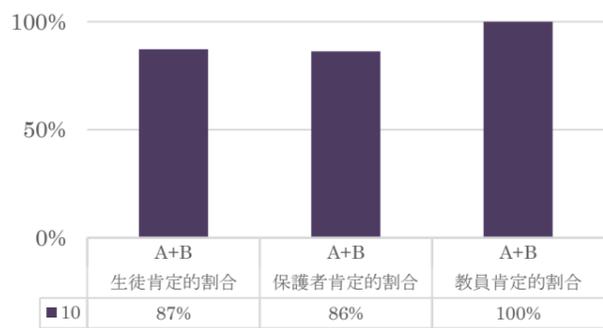
【分析】
安全指導は、未然防止・早期発見・早期対応を行っている。引き続き、安全教育に努める。2学期には「マイタイムライン(東京都教育委員会)」を用いた安全指導を行う。

9 教育相談の充実



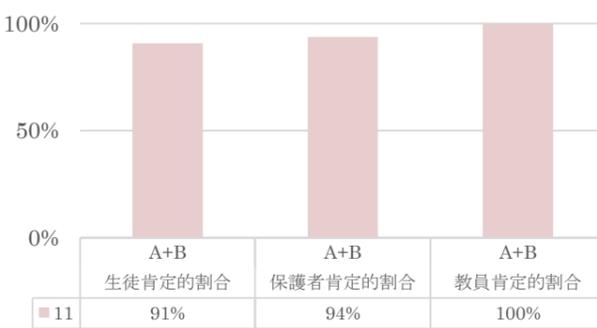
【分析】
教育相談の充実では、生徒△の割合が39%ある。令和4年度は月火それぞれ異なるスクールカウンセラーを配置した新体制のため、まだ十分な結果が出ていない。

10 基本的な生活習慣の確立 (挨拶)



【分析】
今年度、来校された方から、「あいさつしてくれてびっくりしました。」と聞く場面が多くなった。生徒は成長しつつある。

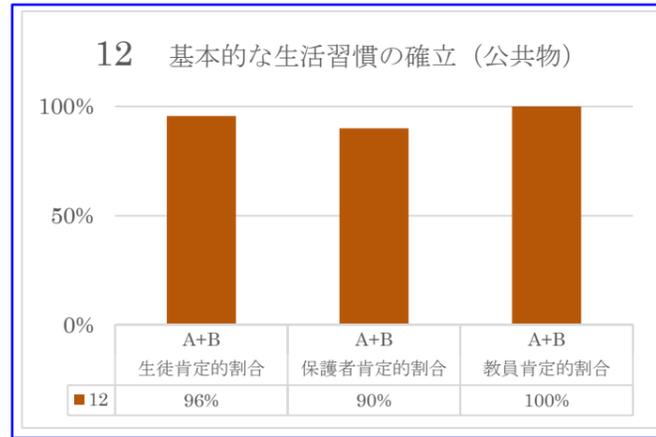
11 基本的な生活習慣の確立 (時間)



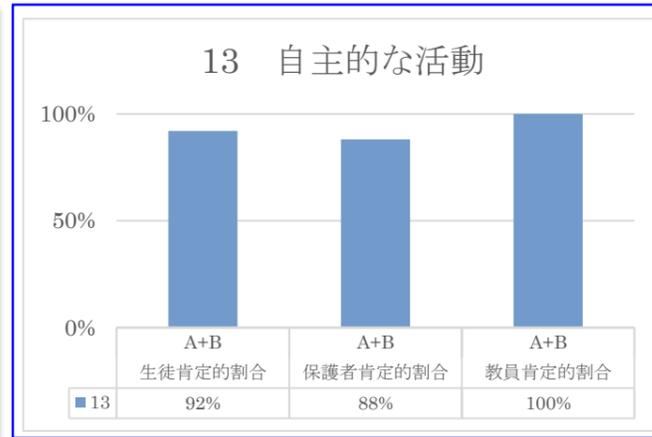
【分析】
生活習慣の確立は申し分ない結果となった。ご家庭・地域・本校と指導観を一致させたことが大きいと考えられる。

【グラフの見方】

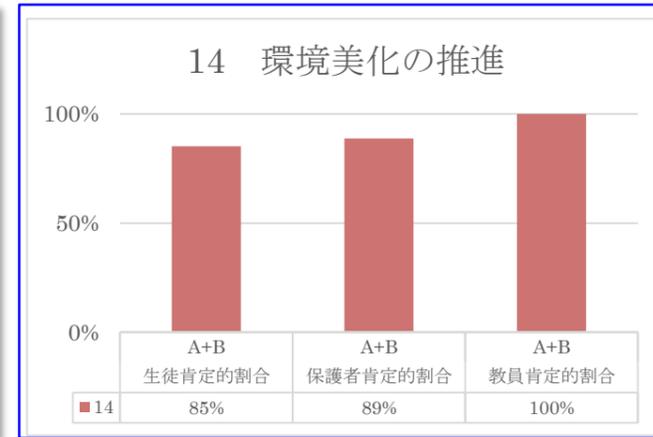
- 単位 百分率(%)
- グラフ上部の数値ラベル 肯定的な回答(AとB)の合計値
A: とてもそう思う。
B: どちらかといえばそう思う。
C: どちらかといえばそう思わない。
D: そう思わない。
△: 情報や事例がないので分からない、判断できない。



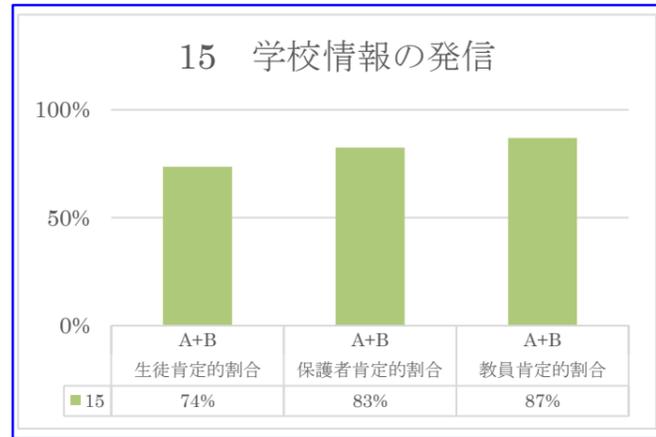
【分析】
公共物を大切にする心や実践意欲や態度は、小学校からの積み重ねが大きい。本校だけでなく七小、九小などをはじめとする初等教育の成果がでた。



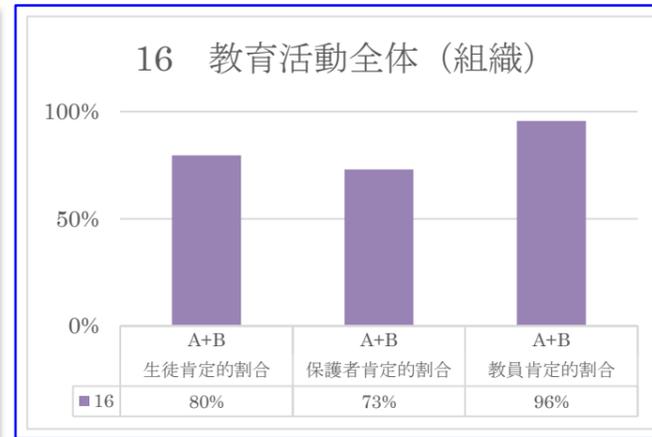
【分析】
自主的、主体的といった言葉は学習指導要領が変わってから、世間をにぎわせている。ねらいと方法を決め、達成感のある活動としたことが高評価となった。



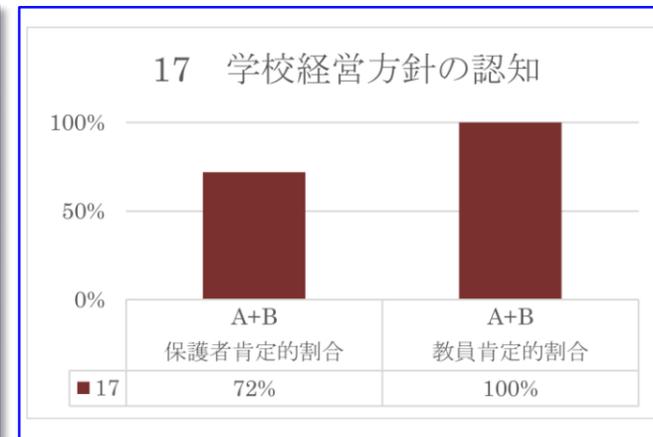
【分析】
生徒会主催による「落ち葉掃きボランティア」は早朝にも関わらず、参加率がとても高い。昨年は市から善行生徒表彰を受賞した。心を磨くことにもつながるため、環境美化を推進していく。



【分析】
保護者・教員と生徒で差が出る結果となった。各学年通信の発行号数は少しずつ多くなり、内容も濃いものになってきた。学校便りでも生徒の活動面を増やしていく。



【分析】
本項目は満足度を取ったものである。今年度、不登校対策委員会を新たに立ち上げ、月に2回会議を行っている。事情があり、登校が難しい生徒にも対応していく。



【分析】
本項目は生徒アンケートとしてとっていないため、生徒のグラフはない。保護者のうち4分の1は認知できていないため、学校便りなどを通して割合を高めていく。